

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	吉田工業株式会社					
代表者名	氏名	吉田 寧裕	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県佐久市望月2166番地1					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	3 1 輸送用機械器具製造業				
主たる事業の概要	自動車、二輪車用ブレーキ部品及び建設機器部品等のアルミ鋳造・加工・表面処理					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,449	2,375	2,513	2,915	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4,877	4,730	4,993	5,774	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	7		7	7	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	27				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020 年度～	2022 年度
報告対象年度	2021	年度			

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.yoshidanet.com
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

環境方針

<基本理念>

わたしたちはもの造りを行うにあたり 限られた地球資源を尊び 法規制を遵守し 環境負荷物質の低減を継続的に行います。

<行動指針>

1. 吉田工業は、自動車・二輪車の部品製造を行うにあたり、環境に配慮した企業活動を推進します。
2. 生産活動において、省資源・省エネルギー・リサイクル、廃棄物削減を行い、環境負荷物質の低減と汚染予防の環境管理を行います。
3. 法規制及び条例を遵守し、更にお取引先と連携した環境保全活動を行います。
4. 環境マネジメントの目的・目標を定め、継続的かつ自主的な改善活動を行います。
5. 環境教育による啓蒙、広報活動により、全社員の意識向上を図ります。
6. 当活動をホームページにて社外に開示します。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

エネルギー管理統括者	:	代表取締役社長
温暖化対策責任者	:	品質保証部 部長
エネルギー管理企画推進者	:	総務部 部長
温暖化対策担当者 兼計画書提出担当者 兼エネルギー管理員 (環境事務局)	:	総務課 課長
環境保全委員	:	本社グリーンヒル 各課長及び環境保全委員 佐久平プラント 各課長及び環境保全委員

5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ① 会議体名称 : 環境保全委員会
- ② 開催頻度 : 3月・9月 半期に1回
- ③ 審議事項 : (1) 環境目的・目標の達成状況 (2) 環境内部・外部監査の結果改善
(3) 環境問題の是正・予防処置 (4) 環境関連法規・条例等の動向
(5) その他審議

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,877	t-CO ₂	売上高	30.86	単位	億
2019年度	調整後排出量	4,877	t-CO ₂	基準原単位	158.04	t-CO ₂ /	億
目標年度	目標排出量	4,730	t-CO ₂	目標原単位	153.30	t-CO ₂ /	億
2022年度	目標削減率	3.01	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> ■ 省エネ管理標準の徹底 ■ 生産活動（寄せ止め）設備稼働率アップ、設備を寄せる、他の設備を止める、余った設備を活かす、捨てる ■ 省エネ設備の導入で作業効率・生産性向上による売上高の増加 						
第一年度	排出量	4,993	t-CO ₂	売上高	33.26	単位	億
	削減率	-2.38	%	原単位	150.12	t-CO ₂ /	億
2020年度	調整後排出量	4,993	t-CO ₂	原単位削減率	5.01	%	
	削減率	-2.38	%				
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ■ 省エネ設備や生産性向上要件を満たす先端設備を導入することで、生産性の向上を図る。 ■ 工場内照明器具のLED化を加速し、エアーコンプレッサーのインバーター化により消費電力を削減した。 ■ 溶解保持炉にエネルギー効率を高める対策を行い、LPガスの使用量を削減した。 ■ 基準年度に対し基準排出量の増加率（基準年度対比102.4%）を上回る売上を計上（基準年度対比107.8%）したことで結果的に削減となる。 						
第二年度	排出量	5,774	t-CO ₂	売上高	42.16	単位	億
	削減率	-18.40	%	原単位	136.95	t-CO ₂ /	億
2021年度	調整後排出量	5,774	t-CO ₂	原単位削減率	13.34	%	
	削減率	-18.40	%				
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ■ 省エネ設備や生産性向上要件を満たす先端設備の導入や全社的作業効率改善活動であるYMIW（Yoshida Monozukuri Inovation Weekly）の実施により、生産性を示す指標である時間当たり加工高が基準年度対比で105.6%向上した。 ■ 基準年度に対し基準排出量の増加率（基準年度対比128.3%）を上回る売上を計上（基準年度対比136.6%）したことで結果的に削減となる。 						
第三年度	排出量		t-CO ₂	売上高		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	27	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310200	主要設備等の保全管理	2020～ 2022	22	2020	167.6
2	エネ起	310500	生産工程のエネルギー管理	2020～ 2022	22	2020	3.6
3	エネ起	360751	コンプレッサーの台数制御	2020～ 2022	5	2020	4.9
4	エネ起	380752	LEDの導入	2020～ 2022	1	2020	0.5
5	エネ起	320104	断熱塗料・高性能断熱材を敷き 放射熱の削減対策			2020	45.6
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電：グリーンヒル工場	KW	100	0	100	100	
太陽光発電：佐久平プラント	KW	50	0	54	54	

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満					1	3,077		
1,500k1未満	2	4,877	2	4,993	1	2,697		
合計	2	4,877	2	4,993	2	5,774		

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄	0	0	0	
N ₂ O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF ₆	0	0	0	
NF ₃	0	0	0	
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	
電気自動車	0	0	0	
燃料電池自動車	0	0	0	
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	
合計	1	1	1	0
自動車総数	7	7	7	
次世代車導入割合	14.3	14.3	14.3	

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	
自転車利用促進	
来客者の交通対策	北陸新幹線 佐久平によりタクシー利用
物流の合理化	客先・取引先トラック・宅急便で対応

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2020
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2003
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

<ul style="list-style-type: none"> DX化推進として紙保存からデータ保存へ移行し、紙の削減を図る取組みを始めた
